



有機野菜が持つエネルギーで どんな時代にも打ち勝つ力を。

(NPO法人鹿児島県有機農業協会 常務理事:園山宗光さん)

活動のきっかけ・想い

有機野菜を正しい判断基準で世の中に送り出す

全国に先駆けて始まった有機野菜のマルシェ「オーガニックフェスタかごしま」は、毎年11月に旧ドルフィンポート前広場で開催され、2020年度で13回目を迎えました。有機野菜の認知度は年々増加しているとはいえ、その流通量は鹿児島県で約2%。それでも全国に比べて多い方だと教えてくださったのは、本フェスタの実行委員会を擁するNPO法人鹿児島県有機農業協会の常務理事・園山宗光氏です。「私たちの法人は設立して20周年になります。20年前はまだ有機農業を知る人は少ない時代でした。私の父は本法人の前身である有機農業生産者の任意団体に所属していました。1999年にJAS法の改正により有機認証制度が始まり、農林水産省に認可を受けなければ有機野菜として販売できなくなりました。そこで、登録認証機関として有機野菜を認可し、普及させていこうとの目的で立ち上がったのが私たちの法人です。また、2006年には有機農業推進法が施行され、国や自治体も有機農業を推進するようになりました。これも有機農業普及に拍車をかける1つの出来事でしたね。」

設立の背景・理念

人にも地球にも優しい農業を普及させる

有機野菜の流通量は世界的にみて日本は1%もありません。諸外国、特にヨーロッパに比べてとても遅れているのが実情です。日本は戦後、人口がどんどん増えていく中で、食料もどんどん作っていかねばならなくなりました。大量生産・大量消費を求められていく中で、戦前は使っていなかったような化学肥料や農薬を使い始めたのです。そうすると農作物の生産量は上がりましたが、農薬が進化することで害虫も強くなり、病気も耐性を持つようになりました。そうするとまた農薬が進化し…と、イタチごっこになっています。ここ数年、サツマイモのもとぐされ病が発生していますが、かなり深刻です。

私たちは「地域に住む人々に対して環境保全のための有機農業の啓発、技術普及、食生活の改善の提案、生産者と消費者の提携の拡大」を目的に、事業の柱である有機JAS認証と共に、有機農業の普及啓発を行なっています。最近では色々な分野で安心安全という言葉を聞きますが、本当の意味で安心できる農産物、健康にいい農産物を世の中にもっと広げていきたいと思っています。

事業の核になっているのは認証事業です。農林水産省の窓口として事業を安定させることが大事なことの1つです。もう1つが有機農業の普及啓発事業です。有機農業の生産者を育て、作り手を増やしていく。そして消費者に有機野菜のことを知っていただく。そのためにオーガニックフェスタや映画祭を実施しています。オーガニックフェスタは今年度で13回目になります。このフェスタ以前に収穫祭のようなお祭りがあったのですが、もう少し拓けた祭りにしたいと、このフェスタが始まりました。まずは組織作りからだったので大変でしたね。農業をやっている方々は自分の意見をしっかり持った人ばかりで、話し合いが紛糾したりもしました。13年続けていく中で、実行委員会のメンバー集めに苦勞する時期もありましたが、今はたくさんのボランティアに支えていただいています。

今年は新型コロナウイルスの感染拡大で中止にしようかという意見もあったのですが、こういう時だからこそ有機農業、有機野菜が持つ力を感じてもらいたい。免疫力を高めてもらってコロナに打ち勝とうと意見がまとまり、縮小してでも開催しようということになりました。

映画祭も今年は止めようという話も出ました。しかし、オーガニックフェスタとはまた違うアプローチで、食べ物や環境のことを見直してもらうことを目的とした映画祭なので、灯を消さず、どうにかやろうという方向になりました。マルヤガーデンズにあるガーデンズシネマは通常営業しておりましたので、その中に関連作品を差し込んでもらうシネマウィークスという形で開催する初めての試みでした。



課題と展望

有機野菜が当たり前の未来に

課題は、やはり次の世代への継承ですね。我々の考え方や理念を、もっと時間をかけて同世代はもちろん子供たちの世代へも伝えていかなければなりません。NPO法人は、将来のビジョンを掲げる上で、理事を含め会員それぞれに様々な考え方があります。NPO法人として運営する難しさもありますが、運営がうまくいったとしても、将来への投資に向けて、どう舵を取っていくかということも課題の1つだと思います。しかし、NPO法人であったからこそ、その理念に賛同した人が安心して集まることができたというのも事実です。これからの未来、有機野菜が特別なものではなく、当たり前毎日の生活にあるものであって欲しいと願います。まずは地産地消で、鹿児島から有機農産物のシェアを広げ、地元の生産農家が有機農業を続ける力をつけていくための後押しをしていきたいです。

NPO法人 鹿児島県有機農業協会 団体概要

● 理事長：田代正一

● 設立年：2000年

● 会員数：387名



● 連絡先：099-258-3374

● mail：koaa@koaa.or.jp

● ホームページ：https://koaa.or.jp

